

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年5月1日発行

2026.4.20 ~ 2026.4.26 第17週一

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)		
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	
急性呼吸器感染症定点	急性呼吸器感染症*1	570 114.00	529 52.90	580 116.00	320 64.00	153 38.25	1,896 72.92	4,048 73.60	71,031
	インフルエンザ*2	1 0.20	7 0.70	1 0.20	4 0.80		22 0.85	35 0.64	17,069
	新型コロナウイルス感染症*2	12 2.40	39 3.90	9 1.80	17 3.40	2 0.50	45 1.73	124 2.25	2,772
小児科定点	RSウイルス感染症*2		2 0.33		1 0.33		9 0.60	12 0.39	255
	咽頭結膜熱*2		2 0.33				3 0.20	5 0.16	88
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*2	8 4.00	11 1.83	8 2.67	6 2.00		30 2.00	63 2.03	1,215
	感染性胃腸炎	30 15.00	14 2.33	14 4.67	5 1.67	14 7.00	44 2.93	121 3.90	2,722
	水痘	2 1.00	1 0.17		3 1.00		1 0.07	7 0.23	145
	手足口病							0	3
	伝染性紅斑						1 0.07	1 0.03	66
	突発性発しん		1 0.17	3 1.00			3 0.20	7 0.23	92
	ヘルパンギーナ*2							0	2
	流行性耳下腺炎						1 0.07	1 0.03	13
眼科定点	急性出血性結膜炎		1 0.33					1 0.08	2
	流行性角結膜炎		1 0.33	5 5.00			2 0.33	8 0.67	84
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	0
	マイコプラズマ肺炎				1 1.00		2 0.40	3 0.30	48
	無菌性髄膜炎							0	0
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)				1				
	川崎病			1					
	不明発疹症								

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 2例(前週比較: 0例)
 新型コロナウイルス感染症: 23例(前週比較: -12例)
 * 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
 急性呼吸器感染症患者より
 第17週採取分(7検体)
 エンテロウイルス属 3件、陰性4件
 ※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
 2類感染症: 結核
 塩釜管内 男性1名
 仙台管内 女性1名
 3類感染症: 報告なし
 4類感染症: レジオネラ症
 仙台管内 男性1名
 5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
 仙南管内 男性1名
 仙台管内 男性1名
 梅毒
 塩釜管内 男性1名
 仙台管内 男性3名、女性2名(第16週)

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

4. 今週のコメント

【急性呼吸器感染症】

急性呼吸器感染症の定点当たりの患者報告数は、今週全ての管内で増加が見られ、前週の61.87人から73.60人へと増加しました。新型コロナウイルス感染症の報告数も前週の1.89人から2.25人へと増加しています。急性呼吸器感染症患者検体からは、エンテロウイルス属が検出されており、これらのウイルスによる呼吸器感染症が流行する可能性も考えられます。ゴールデンウィーク中は旅行や帰省などにより感染の機会が増えることから、引き続き咳エチケットの徹底や、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

【梅毒】

梅毒の患者報告数は年々増加傾向にあります。第17週までの患者報告数が73名と昨年同時期の報告数を上回っています。梅毒は梅毒トレポネマによる感染症で、感染経路の多くは性的接触によるものです。生殖器にしこりやただれ等の症状が出るほか、妊婦の場合は流産等の恐れもあるので感染が疑われる場合には早期に医師の診断、治療を受けてください。

宮城県: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/aidskensa-202004.html>
 厚生労働省: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html

【麻しん】

今年の国内の累計報告数は362例(2026年4月22日時点)で、直近10年で最も多かった2019年の同時期の報告者数422例に迫っています。麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強いため、同じ空間にいただけで感染することもあります。ゴールデンウィーク中は人の移動が増加するため、注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>
 宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課
 電話 022-211-3644

宮城県定点週報告対象疾病の推移

